伊達（だて）　翔（しょう）

生 年 月　1984年２月奈良県生まれ
最終学歴　2009年大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻修了
業務経歴　2009年㈱大林組入社
現在、大阪本店建築事業部建築設計部主任

●担当した主なプロジェクト
2016年　加古川中央市民病院
2017年　日本生命病院
2019年　林病院竣工予定

■青年技術者のことば

「都市とは、その通りを歩いている少年が、彼がいつの日かなりたいと思うものを感じとれる場所でなくてはならない。」これはルイス・カーンの名言で、私が学生時代から好きな言葉の１つである。学生時代は、カーンの言葉にあるように建築は人々の感情に訴えかける力があり、それを実現することが設計だと考えていた。

しかし私も社会人になり、病院設計に携わること７年。その中で感じることは、感情に訴えかけることより、まずは感情に寄り添うことが大切ではないかということだ。病を抱えた患者の不安や手術成功後の安堵、やるせない怒り、そして悲しみ。このような喜怒哀楽の感情を受け入れるためには、人々の五感に働きかける内外空間をしっかりと創り込むことが必要だと考え、プロポーションと光、素材に拘った設計を行ってきた。

クライアントの夢をただ叶えるのではなく、患者の想いや、立ち寄った人々の感情を代弁する気持ちで線を引く。その上で、クライアントの理想を上回る提案をすることこそが、設計の役割だと考えている。

人々の想いに寄り添う設計を続けることで、訪れる人々の人生が豊かになるよう、建築の構成を考え抜くことを大切にしていきたい。

■すいせん者

東井嘉信
㈱大林組　大阪本店　建築事業部
建築設計部　部長

加古川中央市民病院

日本生命病院

林病院